

# 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

資料1-1

部会 : リハビリネット部会

日時 : 令和元年6月26日(水)18:30~ (参加者: 93名)

場所 : 安城市市民会館3階 大会議室

内容 : 自立支援の核心に多職種で迫る ~生活機能向上連携加算を引き合いに~

回収率 : 87.1%

## 1. 職種

職種	人数
1 介護福祉士	10
2 看護師	3
3 ケアマネジャー	38
4 社会福祉士	5
5 ヘルパー等(訪問)	4
6 ヘルパー等(通所)	7
7 ヘルパー等(入所)	0
8 保健師	0
9 言語聴覚士	0
10 作業療法士	3
11 理学療法士	11
<b>合計</b>	<b>81</b>

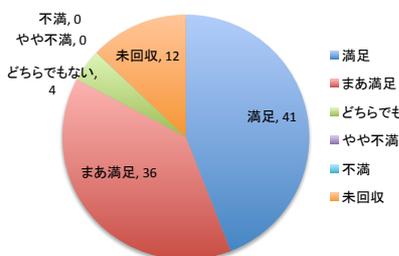
## 2. 所属

職種	人数
1 行政	1
2 居宅介護支援事業所	29
3 社会福祉協議会	0
4 小規模多機能	5
5 診療所	1
6 地域包括支援センター	13
7 通所介護	12
8 通所リハビリテーション	5
9 特別養護老人ホーム	0
10 病院	5
11 訪問看護ステーション	0
12 有料老人ホーム	0
13 老人保健施設	2
14 その他	6
<b>合計</b>	<b>79</b>

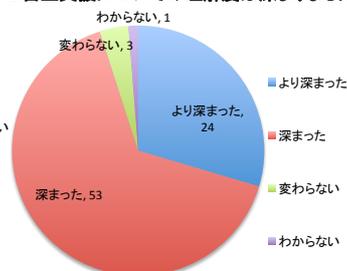


## 3. 研修の反応

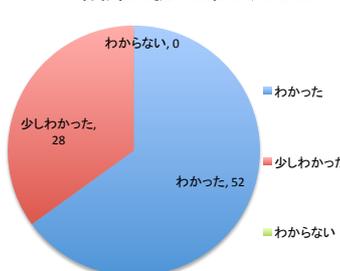
### 1. 満足度



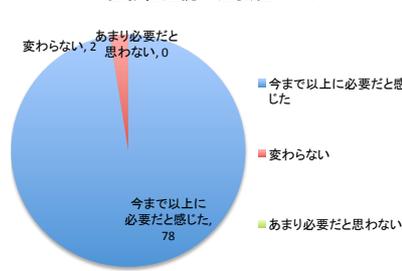
### 2. 自立支援についての理解度は深まりましたか



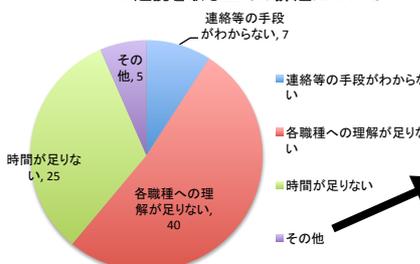
### 3. 各職種の強みはわかりましたか?



### 4. 他職種連携の必要性について



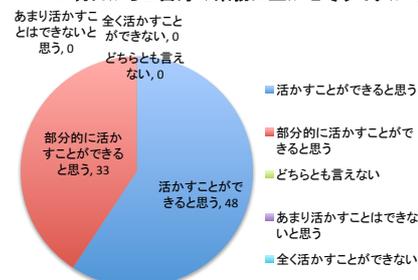
### 5. 連携を取る上での課題について



### 5. 連携を取る上での課題(その他の意見)

- ・各事業所の柔軟な受け入れ<対応力>。
- ・話し合う、
- ・CMを通す必要性。各種に連絡するのではなく一度に連絡できる術があるとうれしい。
- ・課題について深める機会が増えると良い。

### 6. 明日からご自身の業務に生かせそうですか?



## 4. 自由記載

他職種合同で意見を出し合えたところが良かった  
ヘルパー、ケアマネの特徴が良くわかり、より連携を大切にしていきたいと思った  
大変勉強になりました。明日から関連機関との情報共有に活かしていきたい  
リハビリ職の方の安城で自立支援を考えたいという思いが伝わりました。  
業務内で自立支援という言葉を使っているものの自立支援についての理解がまだ足りなかったと気付いた。  
色々な施設の多職種の方とグループワークとても勉強になった  
細かな準備をしていただきありがとうございました。スムーズにグループワークができました  
グループワークが楽しかった  
次回も参加したいです (R1.1月開催)  
職種の強みがすごく分かりやすかった。これから自分の中でできることを介護職として活かしていきたい  
各事業所で顔が見える、話せる機会となりよかった。同じような研修会を多く取り入れて欲しい  
同様の研修を何回でもやりたいです  
サービスが載っていたので、載せない方がより分かりやすかったかなと感じた。  
多職種連携を改めて感じる事ができた。ありがとうございました。  
第2回目は多職種で自宅サロンにするには具体的な方法を考える  
各職種のできる内容について知る機会が欲しい  
多職種の役割を理解することでアセスメントする相互が違いそこから新しい支援方法が生まれるのをグループワークで知れた  
他職種が顔を合わせて意見を出し合う機会をもつのは大切だと思った。電話だとトラブルになることもある。  
多職種連携の強みを知ることができた。地域リハについて知らない方がいたので次回説明があるといい  
グループワークの流れが良くわからず時間が過ぎるのが速かった。パワポを出したままにしてもらえたら分かりやすかったと思う

**次回 リハビリネット部会研修会**

**令和2年1月頃予定**

**生活機能向上連携加算の実態に迫る！**

**～症例から必要性を考える～(仮)**

**安城地域リハビリネットワークFacebook**



**安城地域リハビリネットワーク**

**代表 青木一樹**

**[aoki@ansyokai.or.jp](mailto:aoki@ansyokai.or.jp)**